

# 公民館講座のご案内

講座名	6, 7月の講座内容	日時
はないしょう いけばなと花意匠	伝統的ないけばなからモダンなアレンジまで、自由な表現で花を活けてみましょう 教材費=1回 1,050円	6月20日 7月18日 7月4日 隔週火曜日 午後1時30分から3時30分まで
手話講座	コミュニケーションツールとして注目される手話。 お互い助け合うことの大切さについて学んでみませんか?	6月20日 7月4日 6月27日 7月11日 毎週火曜日 午後6時から午後8時まで
青竹ピクス	青竹を使用してストレッチウォーキングやステップを行ない、足裏の筋肉を鍛える健康体操です。	6月22日 7月13日 7月6日 7月20日 毎週木曜日 午後1時30分から3時30分まで
エルム学園	第1回 開講式・「財産管理について」 第2回 「社交ダンスを体験!」 午後からはクラブ活動[ダンス・カラオケ・陶芸]があります。	第1回 6月30日(土) 第2回 7月14日(土) 午前10時から正午まで
お父さん・お母さん・ 先生のための身近な 自然講座	今回は水生昆虫を観察に行きます。午前10時から午後3時30分までありますので、昼食をご持参ください。	6月25日(日) 午前10時から午後15時30分
上記のお問い合わせ・お申込みは、赤平市公民館 田32-2077 まで。		
講座名	講座内容	日時
野菜のソムリエと 楽しくベジフルライフ	身近な野菜の効用・効能、見分け方、トリビア、食べ比べ、簡単クッキングなどを学んでいきます。教材費=500円	6月22日 7月20日 7月6日 隔週木曜日 午後5時30分から8時30分まで
楽しく歌おう ゴスペル	ゴスペルは魂の叫び、ゴスペルは癒しのハーモニー。 みんなで歌って楽しく過ごしましょう。 折りばし2冊と筆記用具をお持ちください。	6月20日 7月11日 6月27日 7月18日 7月4日 毎週火曜日 午後7時から8時30分まで
上記のお問い合わせ・お申込みは、赤平市東公民館 田33-7537 まで。		

## ”キラリ ☆ クローズアップ ”

今回は、去年から自然講座の講師としてお世話になっている 斎藤和範先生の思いを語って頂きました。先生の思いに 自然にうなずいているかもしれない貴方? 赤平の自然をあらためて見つめてみませんか? 『先生の「生態系の攪乱」については雑誌「ファウラ faura」No9に載っています。』

「今、足下の自然を見つめ直そう」 斎藤和範 氏「自然環境学」フリーランスキューレーター

子供の頃よく魚釣りをした。学校から帰りランドセルを投げ出し、弟や近所の友達と一緒に近くの小川にフナ釣りに行った。水田にある稲藁の山でシマミズを取りそれが餌だった。釣れるほとんどがアカハラウグイ。初夏の頃、腹の赤くなった 25cm ほどの大きな個体もあった。フナも時々釣れた。ソウグイやギンブナのほかにゲウオ(僕たちはトンギョと言っていた)も沢山いた。

川だけでなく山にもよく出かけた。そのころはまだ林は手入れがされ、枝払いや下草刈りも行われていた。カラマツ林の下は、子供達が走って鬼ごっこのできる良い空間だった。ヤマブドウの蔓が絡まった木に登り、沢山ブドウを取った。学校帰りで入れ物なんか持っていないから、学生帽の中に詰め込んで意気揚々と家へと帰った。もちろん学生帽はブドウ汁で紫色。しこたま怒られた。山際の田んぼの溝にはザリガニもいた。もちろんニホンザリガニ。沢からくる冷たい水が流れていた。でもその山河は今見る影もない。

国会で「愛国心」取り上げられているが、私達が愛するのは国ではない。私達を育ててくれた山・川・海といった身近な風土だろう。しかし、今身の回りの森や川・海岸に自然は残ってはいるだろうか。直線化され三面護岸された川、ダムで生物の行き来の出来なくなった川、ぬるっとした川底。木を切ったまま放置された禿げ山、手入れのされていない造林地、防波堤だらけの海岸線。愛すべき風土の自然はどこに残っているのだろうか。

不必要な公共事業は古来からの風土を破壊し、そこに棲む多くの生物を排除し、人々を自然から遠ざけた。私達が自然とかけ離れた生活をすればするほど、自然に対する謙虚さを失い傲りが生まれる。傲りは自然破壊の悪循環を引き起こす。日頃から身の回りの自然に接し関心を持ち観察していればその変貌ぶりに気がつく。私達が身近な自然を足下を見つめ直すことは「風土を愛する心」を育て自然環境の保全の第一歩となるだろう。